

目標年度の展望

○○な状況の中、各種システムの導入及び集出荷貯蔵施設の整備により、A AとB Bの効率化、C Cによる価格の安定化を推進し、生産者所得の向上を図る

【目標】計画に係る供給調整機能を有する施設における取扱数量について現状から10%以上向上

- ・目標年(R10)度の取扱数量 ○トン (○%増)
- ・現状(R5)の取扱数量 ○トン

現状と課題

①生産安定・効率化機能

×××、△△△△において、～～に関する講習会等を実施しているが、A A、B Bによる生産量の低下、C Cの煩雑化への対応が課題。

②供給調整機能

需要と供給において日量○トンの差があり、ピーク時は貯蔵容量が不足し、出荷調整を行い、ロスが生じてしまっている。また、# # # #により生産者の負担が増加しているため、集荷・配送の効率化が急がれる。

③実需者ニーズ対応機能

現在の施設では、保管能力の不足しており、また、―――が変わり、消費者ニーズも変わってきているが、現機能では、対応できおらず、～～～な少なく、機会損失となっている。

実施体制

- ◇△協議会
 - ・○○体制構築
 - ・△△効率化
 - ・□□生産拡大

- 【生産効率化】
 - 生産拡大
 - ・○○農業者
 - ・△△農協
 - ・□□法人

- 【供給調整】
 - 体制構築
 - ・○○民間事業者 (△工場)
 - ・□□民間事業者 (△工場)



○○指導
連携○○産地、△△県、□□公社
○○連携

①生産安定・効率化機能の取組

拠点事業者：(株)○○

対象産地：○○○

取組内容

従来の―――等の指導・支援に加え、# # # #等に基づく栽培を支援するため、新規栽培者でも～～～が可能となり、○○○○し、XXとYY・ZZの相関等の○○を活用した出荷予測システムの構築と導入する。

また、生産者の―――の負担軽減を図ため、新たに# # # #を導入し、A AやB B等の時間を確保することができ、XXやYY、ZZの向上を図る。

#の導入に伴い、A AやB Bを更新し、供給調整機能をより効率的に発揮させるとともに、実需者ニーズ対応機能の○○となる取り組みを行っていく。

各機能の具備強化により、生産者の所得が向上し、A AやB Bの増加など、産地としての～～～が生まれていくよう取り組んでいく。

連携者：○○ファーム、JA○○

連携の取組：到達目標の達成に向けて、○tから○tに生産量を増加させる。

②供給調整機能の取組

拠点事業者：(株)○○

拠点施設：○○工場 [集出荷貯蔵施設]

(集荷施設○m²、貯蔵施設○m²、取扱量○トン/年)

取組内容

新たな集出荷貯蔵施設を整備することで、XXやYY、ZZが可能となり、A AとB Bを図る。整備する施設においては、○○技術を確立し、―――を図ることで、～～～を実現し、# # # #に繋げ、A AとB Bを向上させ、生産者の安定経営に繋げる。

また、実需者ニーズにも対応するため、A Aに限らず、B B等を活用したXXやYYを行い、輸送コストの抑制を図り、生産者のコスト低減に繋げる。

連携者：○○(株)

連携の取組：到達目標の達成に向けて、○○に取り組む。

③実需者ニーズ対応機能の取組

拠点事業者：(株)○○

取組内容

実需者ニーズの高い時期へのXXやYY、ZZのニーズに対応できるよう出荷予測システムに配送計画を連動させ、―――を行い、供給調整機能の具備・強化と併せて、A AやB Bを進めることで、XXやYYへ対応し、～～～等ニーズにも対応できることで# # # #に繋げる。

供給調整機能の強化による―――はもちろん、運送業者と連携することで、# # # #を強化し、実需者段階での商品の高品質化を図る。

また、○○○○の分析を行い、―――を分かりやすく伝える表示など、消費者が手に取りたくなる# # # #商品化により、～～～を図りつつ、これまで連携してきた○○百貨店等で、PRを行い、さらなる消費拡大にも繋げていく。

連携者：○○(株)

連携の取組：到達目標の達成に向けて、○○に取り組む。